

さいたま市の訓練実施結果概要

<p>訓練の目的</p>	<p>市民、自主防災組織及び事業所を主体とした訓練を実施し、「自助」「共助」の更なる充実強化並びに防災意識の高揚を図る。また、九都県市及び防災関係機関のリアリティーを追求した実践的訓練を実施し、「公助」の連携体制を強化・検証し、災害対応力の向上を図ることを目的とする。</p>
<p>日時</p>	<p>平成26年8月30日(土) 9:30~12:30 (体験乗車・展示コーナーは9:30~13:00)</p>
<p>会場</p>	<p>さいたま市立第二東中学校 一带 (自治医科大学附属さいたま医療センター、防災センター、大宮消防署訓練場、大宮体育館)</p>
<p>規模</p>	<p>参加機関(団体) 67機関、 参加人員 5,000人(主会場) 46校、 29,171人(シェイクアウト訓練) 37事業所、 1,367人(シェイクアウト訓練) 15事業所(帰宅困難者対策における情報伝達訓練)</p>
<p>想定地震</p>	<p>本市を震源とする大きな地震が発生した。地震の規模はM7.3、震度6強を記録し、市内全域に被害が発生している。特に、市内北西部において建物の倒壊、交通網の損壊が著しく、多数の負傷者が発生している。また、電気・ガス・水道・通信網等のライフラインにも甚大な被害が発生している。</p>
<p>訓練項目</p>	<p>1 発災対応型訓練 (1) 市災害対策本部設置訓練 (2) 避難誘導訓練 (3) 避難場所開設、運営訓練 (4) 避難場所施設電気復旧訓練 (5) 災害ボランティアセンター運営訓練 (6) 防災行政無線広報訓練 (7) 上空偵察、情報伝達訓練 (8) ヘリテレ送受信訓練 (9) 初期消火訓練 (10) 共助による救出救護訓練 (11) 道路交通対策訓練 (12) 救援物資緊急輸送訓練 (13) 救援物資受入訓練 (14) ライフライン応急復旧訓練 (15) 災害救助犬活動訓練 (16) 医療救護訓練 (17) 応急救護所設置訓練</p>

	<p>(18) 公助による救出救護訓練 (19) ヘリコプターによる救出訓練 (20) 水防訓練</p> <p>2 体験訓練</p> <p>(1) 被災地体験訓練 (2) 救出救護訓練 (3) 応急手当訓練 (4) 初動対応訓練 (5) 避難準備訓練 (6) 煙体験訓練 (7) 大声体験訓練 (8) 初期消火訓練 (9) 身体防護訓練 (10) 発動発電機始動訓練 (11) 炊き出し訓練</p> <p>3 防災フェア</p> <p>(1) 防災関係機関等による展示 (2) ステージにおける防災啓発</p> <p>4 その他</p> <p>(1) シェイクアウト訓練 (2) 帰宅困難者対策における情報伝達訓練</p>
<p>訓練の 特徴</p>	<p>開催地区の地域特性による訓練として、横転電車から地元消防団員により救出された多数の負傷者を、隣接する病院のエントランスまで、地元の中学生や住民が担架で搬送する「共助による救出救護訓練」を行った後、重機や救助資機材等を活用して救出する「公助による救出救護訓練」を実施した。</p> <p>また、若年層、子育て世代を含む幅広い世代の参加者が、楽しみながら学べる防災フェアや参加型体験訓練を実施した。</p>

<p>参加機関</p>	<p>【国の機関】 陸上自衛隊（第3 2 普通科連隊、中央即応集団中央特殊武器防護隊）</p> <p>【県の機関】 埼玉県警察（本部、広域緊急援助隊、航空隊、さいたま市警察部、大宮警察署）、埼玉県防災航空隊</p> <p>【指定地方公共機関】 埼玉県LPガス協会（浦和支部、大宮支部）、埼玉県トラック協会（浦和支部、大宮支部、岩槻支部）、（一社）浦和医師会、（一社）大宮医師会、（一社）さいたま市与野医師会、（一社）岩槻医師会</p> <p>【指定公共機関】 東京ガス(株)埼玉支社、日本通運(株)埼玉支店、東京電力(株)さいたま支</p>
-------------	--

	<p>社、(株)NTTドコモ埼玉支店、東日本電信電話(株)埼玉支店、日本赤十字社埼玉県支部</p> <p>【協定機関】</p> <p>さいたま市建設業協会、さいたま市管工事業協同組合、埼玉県電気工事工業組合、(一社)ジャパンケネルクラブ、さいたまアマチュア無線防災ネットワーク、生活協同組合コープみらい、赤帽首都圏軽自動車運送協同組合埼玉県支部、日野興業(株)埼玉営業所、イオンリテール(株)北関東カンパニー、(株)エフエム浦和、福島市、松戸市、立川市</p> <p>【市民参加組織等】</p> <p>さいたま市自治会連合会、さいたま市自主防災組織連絡協議会、社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会、さいたま市障害者協議会、(公社)さいたま観光国際協会、埼玉安全赤十字奉仕団、埼玉県赤十字災害救援奉仕団、災害ボランティアバイクネットワーク関東、さいたま市防災アドバイザー、さいたま市防災ボランティアコーディネーター、さいたま市消防団、さいたま市少年消防団</p> <p>【他機関・団体等】</p> <p>自治医科大学附属さいたま医療センター、浦和第1警察犬訓練所春日部校、(社)さいたま市防火安全協会、さいたま市防災協力同業組合、埼玉福祉専門学校、さいたま市立高等看護学院、さいたま市立第二東中学校</p> <p>【九都県市広域応援協定自治体】</p> <p>埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、相模原市</p>
<p>協力機関</p>	<p>さいたま市立芝川小学校、さいたま市大宮体育館、さいたま市防災センター</p>